

YUI【結】



Vol.79
2023 秋
(年4回発行)

ただいま285の市民グループが登録中!

市民活動とは、営利を目的としない自主的な公益活動のことです。

- 内容
- ◆ 活動レポート『福川子どもクラブ』
 - ◆ 夏休みワークショップについて
 - ◆ 情報発信講座について
 - ◆ 市民活動支援センターに関するアンケート結果について



福川子どもクラブ

自然の中で、ワクワク、ドキドキを体験『子ども探険隊』

福川子どもクラブは、2006年の発足以来『子ども探険隊』と題した自然体験活動を、子どもを対象に県内各地で開催しています。毎回約30名の参加があり、リピーターの子も多いそう。これまで、干潟探険や動物園探険、山登り、沢登りなど、専門の講師の指導も交えた様々なプログラムを開催して

おり、このような体験活動を通して、子どもたちが自然や人に対する感性を高めること、チャレンジすること、知ることや遊ぶことの楽しさに気づくことを目的に活動を続けています。

2020年にはこれまでの活動が認められ、地方新聞46紙と共同通信が地域活性化の取り組みを表彰する『第10回地域再生大賞 優秀賞』を受賞されました。

今回は、代表の大野さんにお話を伺わせていただきました。



活動を始めたきっかけを教えてください。

2001年開催の『山口きらら博』に、ボランティアとして参加したことがきっかけです。その時に出来た繋がり、子どもを対象に自然体験活動を行う、宇部の『エコクラブ』の活動に参加させていただきました。秋吉台や海へ行ったりしたのですが、それがとても楽しくて。山口県にこんな場所があるんだという発見と、講師の方が知らないことを沢山教えてください、知る喜びも感じました。参加していた子ども達もノリノリで、本当に楽しそうだったので覚えています。周南市でもこういう活動をしたいと思い、2006年に『福川子どもクラブ』を立ち上げました。



どのようなメンバーで活動されていますか？

基本は当初からいる5人ですが、その時々で講師の方や大学生、社会人の皆さんと一緒に活動してくれています。社会人スタッフの中には、子どもの時『子ども探険隊』に参加してくれていたメンバーもいますよ。



やりがいや、これまで活動を続けてこられた理由を教えてください。



やっぱり、楽しいんですよね。“子どもが楽しいから私も楽しい”という感じです。海での活動の時、カニが穴から沢山出てきて足の踏み場がなくなった子ども達が、「キャー！」って言いながらも喜んでいて、そんな姿を見ると、楽しいなあって思います。

コロナによる活動休止期間を経て、昨年久しぶりに再開した時、子ども達はもちろん、スタッフもとてもウキウキした様子で。私たち大人も『子ども探険隊』をきっかけに、集まり、繋がれる。大人にとっても居場所になっていると思います。

募集

福川子どもクラブでは、一緒に活動してくれるボランティアスタッフを募集しています。ご興味のある方は、センターまでご連絡ください。また、活動の様子はInstagramからもご覧いただけますので、ぜひチェックしてみてください★

